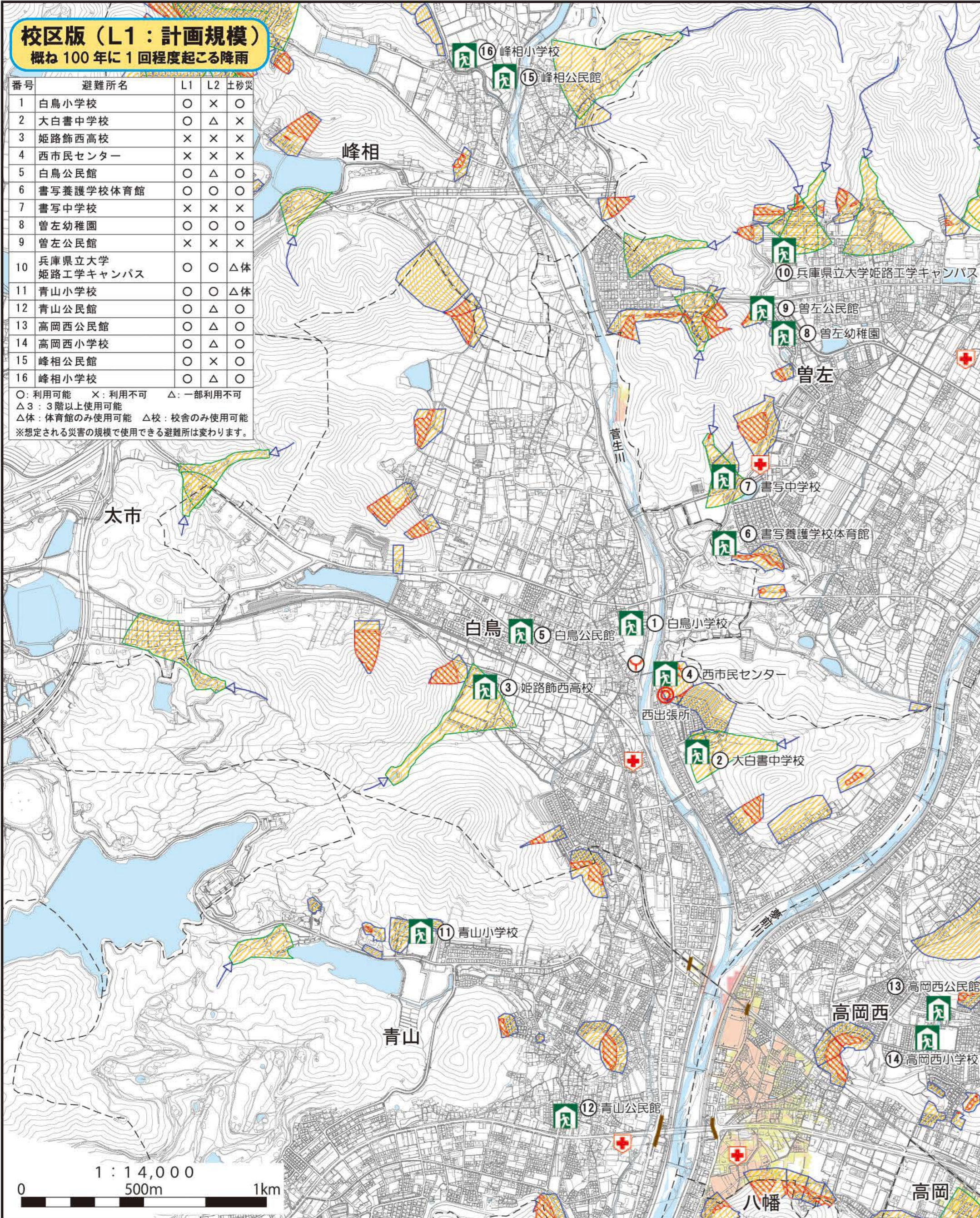


この洪水・土砂災害ハザードマップは、洪水・土砂災害による被害を予測し、その範囲を地図に示したものです。
 洪水については、浸水が想定される区域とその水深の情報を記載しています。お住いの地域を中心に、校区版のマップには河川整備の目標としている降雨（L1：計画規模降雨＝概ね100年に1回程度起こる降雨）により河川が氾濫した場合の浸水想定区域を表示し、広域版のマップには想定し得る最大規模の降雨（L2：想定最大規模降雨＝概ね1,000年に1回程度起こる降雨）により河川が氾濫した場合の浸水想定区域を表示しています。
 土砂災害については、兵庫県が「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、土砂災害のおそれのある区域を調査し、指定した土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を表示しています。
 自宅等の危険度を事前に把握いただき、避難行動に役立ててください。

校区版 (L1: 計画規模) 概ね100年に1回程度起こる降雨

番号	避難所名	L1	L2	土砂災
1	白鳥小学校	○	×	○
2	大白書中学校	○	△	×
3	姫路飾西高校	×	×	×
4	西市民センター	×	×	×
5	白鳥公民館	○	△	○
6	書写養護学校体育館	○	○	○
7	書写中学校	×	×	×
8	曾左幼稚園	○	○	○
9	曾左公民館	×	×	×
10	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	○	○	△体
11	青山小学校	○	○	△体
12	青山公民館	○	△	○
13	高岡西公民館	○	△	○
14	高岡西小学校	○	△	○
15	峰相公民館	○	×	○
16	峰相小学校	○	△	○

○: 利用可能 ×: 利用不可 △: 一部利用不可
 △3: 3階以上使用可能
 △体: 体育館のみ使用可能 △校: 校舎のみ使用可能
 ※想定される災害の規模で使用できる避難所は変わります。



記号について

- 避難所
- 市役所・支所・地域事務所
- 消防署
- 病院
- アンダーパス
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 土砂災害特別警戒区域
- 土石流危険渓流
- 家屋倒壊等氾濫想定区域

浸水深について

- 10.0m以上の浸水が想定される区域
- 5.0m～10.0m未満の浸水が想定される区域
- 3.0m～5.0m未満の浸水が想定される区域
- 0.5m～3.0m未満の浸水が想定される区域
- 0.5m未満の浸水が想定される区域

【土砂災害警戒区域】

土砂災害が発生した場合、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域

【土砂災害特別警戒区域】

警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域

【急傾斜地の崩壊】

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）により土砂災害のおそれのある区域

【土石流】

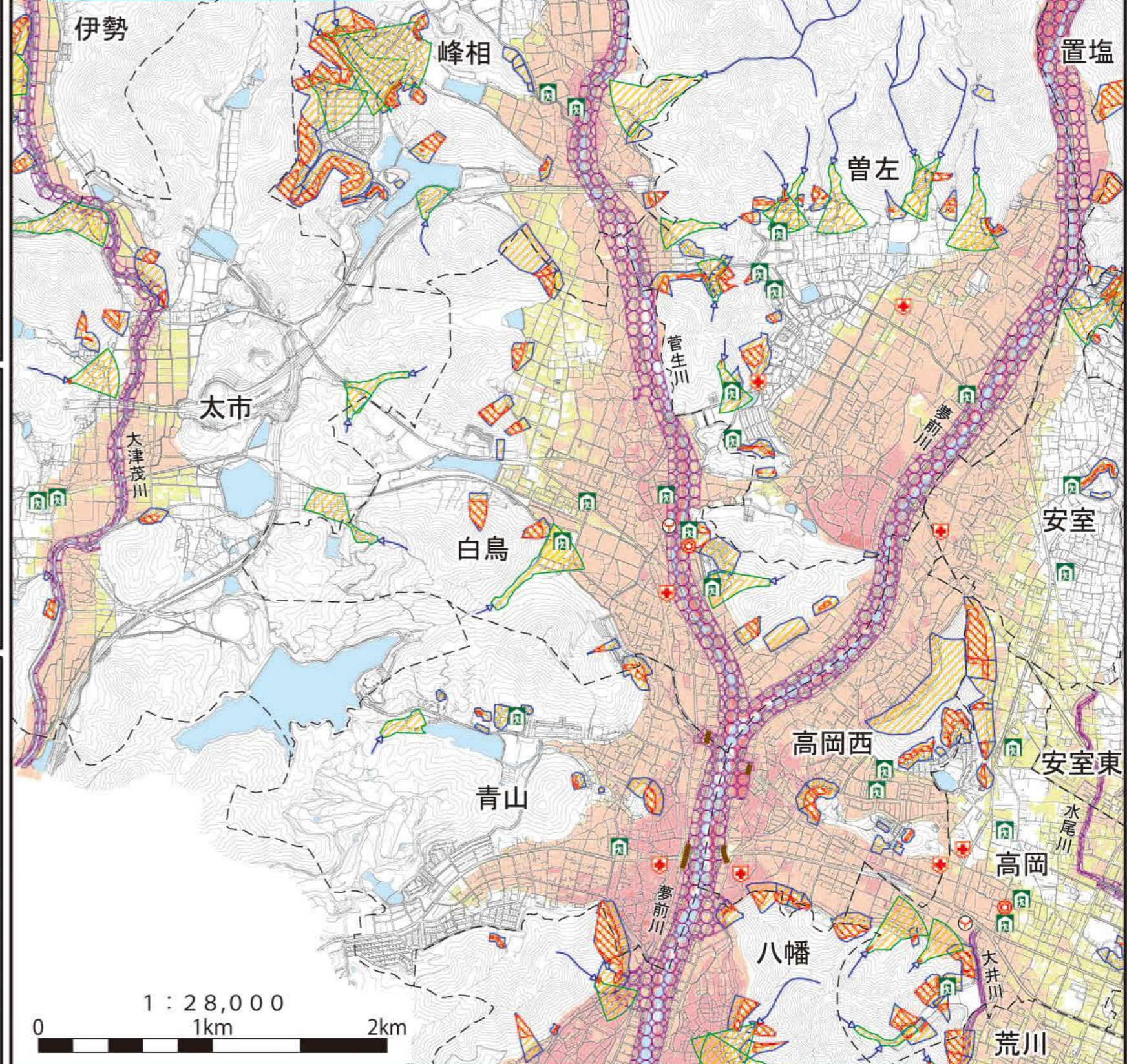
土石流により、土砂災害のおそれのある区域

【家屋倒壊等氾濫想定区域】

近くの堤防が決壊等した場合、洪水氾濫若しくは河岸侵食によって一般的な建築物が倒壊・流出する危険性が高い区域

自宅等が「家屋倒壊等氾濫想定区域」や「土砂災害警戒区域」に含まれる場合は、**区域外に避難（水平避難）**してください。
 それ以外の区域にお住まいの方は、想定される浸水深を考慮し、場合によっては**自宅等での安全確保（垂直避難）**も可能です。

広域版 (L2: 想定最大) 概ね1,000年に1回程度起こる降雨



洪水浸水深想定範囲

- 10.0m以上
- 5.0m～10.0m未満 (3階～4階軒下浸水)
- 3.0m～5.0m未満 (2階床上～軒下浸水)
- 0.5m～3.0m未満 (1階床上浸水～軒下浸水)
- 0.5m未満 (1階床下浸水)

「警戒レベル」を参考に避難をしましょう!!

警戒レベル3, 4が発令された地域にお住まいの方は、すみやかに安全な場所に避難しましょう!

警戒レベル①	警戒レベル②	警戒レベル③	警戒レベル④	警戒レベル⑤
災害への心構えをしましょう。	避難行動の確認をしましょう。	避難！ 高齢者等は危険な場所から	避難指示 全員避難！ 危険な場所から	緊急安全確保 命を守るための行動を！ 発生中！
テレビ・ラジオ	緊急速報メール等 ひめじ防災ネット	防災行政無線 (スピーカー)	広報車	ツイッター・ひよこむ ひめじ防災 web 等

警戒レベル予警報等 → 市町村 ↓ 住民等